

ozzio cloud (Mac 用) ユーザーガイド



Last update 2015.8.5

変更履歴

変更日	変更箇所	変更内容
2013/9/30	新規作成	
2013/11/11	ozziocloud(Mac 用)をアンインストールする	新規追加
2013/12/20	動作環境	Mac OSX 10.9 に関することを追記しました。
2014/2/6	ご利用上の注意点	項目追加
2014/03/11	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Mac)	新規追加
2014/03/24	ご利用上の注意点	項目追加
2014/3/27	4.1 6 設定情報をバックアップする	バックアップできる件数に関して追記
2014/4/1	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Mac)	一部修正
2014/4/16	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Mac)	Wi-Fi に関することを追記
2014/05/09	ご利用上の注意点	項目追加
2014/06/30	4.24 同期対象となるファイルの拡張子を設定する	最後に注意書きを追記
	ご利用上の注意点	項目追加
2015/05/29	4.26 クリーンアップを行う	新規追加
	3. ozziocloud(Mac 用)にログインする	アップデートのお知らせ機能に関して追記
2015/8/5	画像差し替え	

1.	はじめに	4
1.1.	ozziocloud(Mac 用)について	4
1.2.	動作環境	4
1.3.	本マニュアルの見かた	4
1.4.	ご利用上の注意点	5
1.5.	画面の見かた	6
2.	ozziocloud(Mac 用)をインストールする	7
3.	ozziocloud(Mac 用)にログインする	9
4.	ozziocloud(Mac 用)を利用する	11
4.1.	Mac から利用できる機能を紹介	11
4.2.	ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード	12
4.3.	ファイル・フォルダを削除する	15
4.4.	ファイル・フォルダの名前を変更する	16
4.5.	ファイル同期の設定	17
4.6.	ファイル同期状況の確認	19
4.7.	ファイル同期中断/再開	20
4.8.	ファイル・フォルダ表示の切替	21
4.9.	ユーザー指定フォルダの追加	22
4.10.	ごみ箱を設定する	24
4.11.	ごみ箱から削除する	26
4.12.	ごみ箱から復元する	30
4.13.	ozziocloud からのお知らせを見る	31
4.14.	ozziocloud 内を最新にする	32
4.15.	システム環境設定のログイン項目に ozziocloud を追加する	33
4.16.	設定情報をバックアップする	34
4.17.	設定情報をリストアする	36
4.18.	設定情報をダウンロードする	38
4.19.	設定情報をインポートする	40
4.20.	設定情報の閲覧を行う	43
4.21.	帯域制限を設定する	44
4.22.	アカウント情報を確認する	45
4.23.	ozziocloud のパスワードを変更する	46
4.24.	同期対象となるファイルの拡張子を設定する	48
4.25.	ネットワーク接続状況を確認する	50
4.26.	クリーンアップを行う	51
5.	ozziocloud(Mac 用)をアンインストールする	52
6.	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Mac)	53

1. はじめに

1.1. ozziocloud(Mac用)について

ozziocloud(Mac用)(以下、本ツール)とは、株式会社ピーシーデポコーポレーションの提供するドキュメント・写真・音楽・ムービー等のデータを自動でバックアップし、いつでもどこでも様々なデバイスからアクセスできるクラウドストレージサービスのMac用クライアントです。

本ツールは、「Mac」よりクラウドストレージサービスにアクセスするためのツールです。

1.2. 動作環境

OS	Mac OS X v10.7 (Lion) Mac OS X v10.8 (Mountain Lion) Mac OS X v10.9 (Mavericks) Mac OS X v10.10 (Yosemite)
CPU	Mac OS X v10.7 (Lion) Intel Core 2 Duo, Core i3, Core i5, Core i7, Xeon プロセッサ Mac OS X v10.8 (Mountain Lion) iMac(Mid 2007以降), MacBook(Late 2008 AluminumまたはEarly 2009以降), MacBook Pro((Mid/Late 2007以降), MacBook Air(Late 2008以降) Mac mini(Early 2009以降), Mac Pro (Early 2008以降), Xserve (Early 2009) Mac OS X v10.9 (Mavericks) iMac(Mid 2007以降), MacBook(Late 2008 AluminumまたはEarly 2009以降), MacBook Pro((Mid/Late 2007以降), MacBook Air(Late 2008以降) Mac mini(Early 2009以降), Mac Pro (Early 2008以降), Xserve (Early 2009) Mac OS X v10.10 (Yosemite) iMac(Mid 2007以降), MacBook(Late 2008 AluminumまたはEarly 2009以降), MacBook Pro((Mid/Late 2007以降), MacBook Air(Late 2008以降) Mac mini(Early 2009以降), Mac Pro (Early 2008以降), Xserve (Early 2009)
メモリ	2GB以上
ハードディスク	1GB以上の空き容量が必要
ブラウザ	Safari 5.1以上、Firefox最新版、Google Chrome最新版
ネットワーク	インターネットへのアクセス 1Mbps以上の回線速度

1.3. 本マニュアルの見かた

ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

1.4. ご利用上の注意点

- ブラウザのリストア完了時、Safari が起動します。
- ゴミ箱内にあるファイルはサムネイル表示されません。
- MacOSX 10.9, 10.10 の場合、アンインストール後に OS の再起動をしないと、アカウント情報が残るので、再起動をする必要があります。
- ログイン中に、本ツールを強制終了させたり、OS を強制終了させると30分間ログインできない状態になります。
- 自動設定バックアップ時には、Wi-Fi のパスワードがバックアップされません。
- 設定バックアップ時には、データアクセスへの許可をする必要があります。
- 同期対象の拡張子を登録された後に、本ツールへ反映されるためには、ツールの再起動を行うか、一度ログアウトして再ログインをする必要があります。

1.5. 画面の見かた



① ツールバー	「ダウンロード」や「アップロード」等のアイコンメニューを表示します。
② アドレスバー	現在表示しているフォルダ名を表示します。
③ 検索バー	表示しているフォルダ内のファイル及びフォルダを検索するときに使用します。
④ フォルダー一覧	ozziocloud 上のフォルダを表示します。
⑤ ファイル一覧	ozziocloud 上のフォルダ内にあるファイルを表示します。
⑥ プレビュー画面	ファイルのプレビューを表示します。
⑦ ファイルプロパティ	ファイルの「サイズ」、「種類」等を表示します。
⑧ オンライン・オフライン表示	本ツールのネットワーク状態を表示します。 オンライン：インターネット環境に接続されています。 オフライン：インターネット環境に接続されていません。
⑨ 使用容量/全容量	ozziocloud 上で使用されている容量/使用できる全体容量を表示します。

2. ozziocloud(Mac 用)をインストールする

本ツールは、ご利用のパソコンからクラウドサービスが使用できるように設定を行います。

下記手順に従って、本ツールをインストールしてください。

- ※ ご利用のパソコンが動作環境のスペック以上でないといインストールすることができません。4 ページ[「動作環境」](#)をご覧ください、ご利用のパソコンにインストールできることを確認してください。
- ※ 本ツールのインストーラーを同時に 2 つ以上起動することはできません。

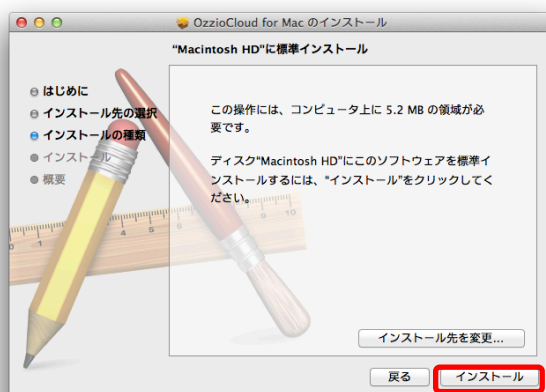
1 「ozziocloud.pkg」をダブルクリックし、インストーラーを開きます。

本ツールのインストールを開始します。

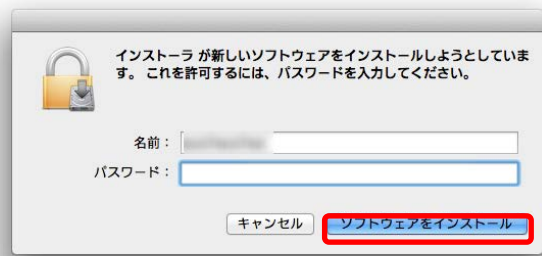
「続ける」をクリックします。



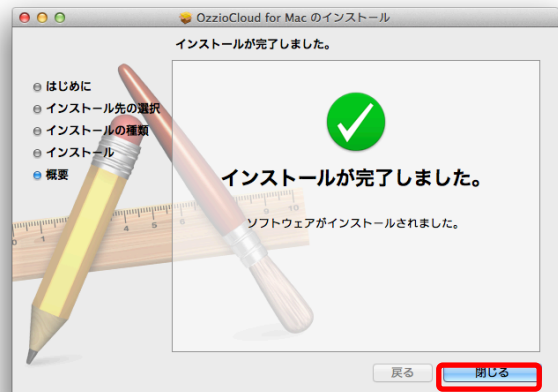
2 インストール先を変更する場合は、「インストール先を変更」ボタンをクリックします。インストール先を変更しない場合は、「インストール」をクリックします。



3 パスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



4 画面の指示に従ってインストールします。
以上で本ツールのインストールは終了です。
「閉じる」をクリックします。
(ツールはアプリケーションフォルダにインストールされます。)



3. ozziocloud(Mac 用)にログインする

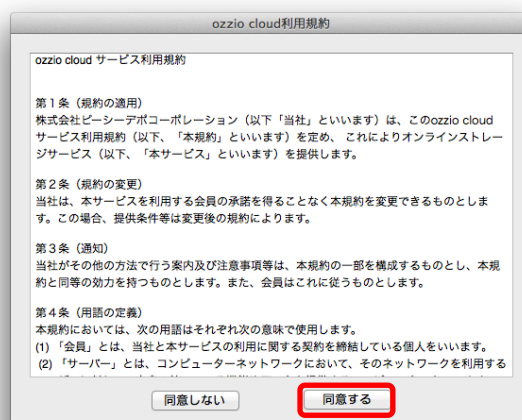
ログイン方法を説明します。

1

アプリケーションフォルダより、「ozzio cloud」をダブルクリックします。

2

利用規約が表示されます。内容を確認し、「同意する」をクリックします。



3

ID、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

※初めてご利用の場合は、この画面の後に、ozziocloud メイン画面が表示され、機能がご利用いただけます。既に登録済みのデバイスがある場合は、手順4以降をご参照ください。

※現行でお使いのものより新しいバージョンが公開されている場合は、アップデートを確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択することにより、アップデートが開始されます。



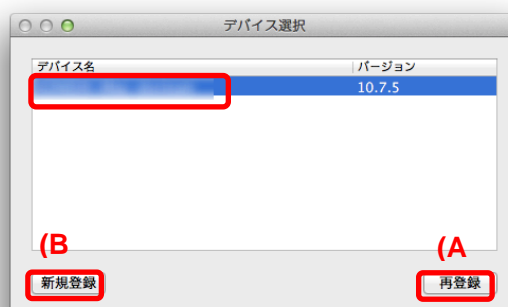
4

デバイス選択画面が表示されます。

登録済みのデバイスを使用する場合は、該当のデバイス名をクリックし、「再登録」(A)をクリックします。

新規にデバイスを登録する場合は、「新規登録」(B)をクリックします。

※同一 PC で 2 回目以降のログイン時には表示されません。



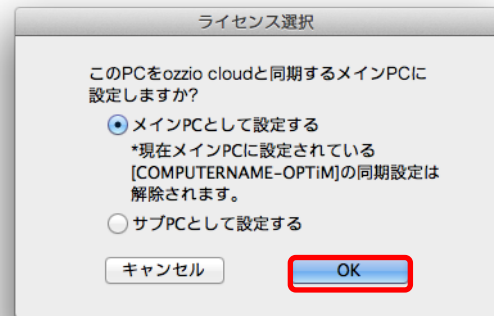
5

ライセンス選択画面が表示されます。

「メイン PC として設定する」もしくは「サブ PC として設定する」を選択し、「OK」をクリックします。

※プランによっては表示されない場合もございます。

※同一 PC で 2 回目以降のログイン時には表示されません。

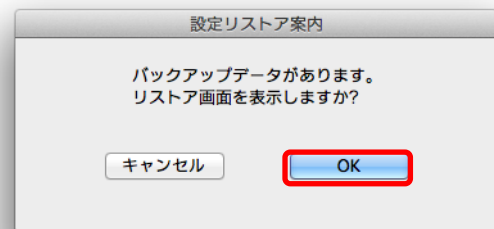


6

リストア画面を表示する場合は、「OK」をクリックします。

※プランによっては表示されない場合もございます。

※同一 PC で 2 回目以降のログイン時には表示されません。



7

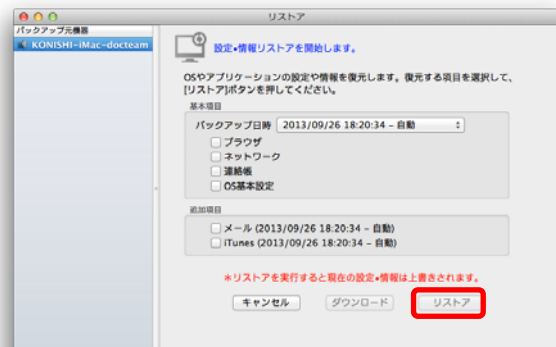
リストア画面が表示されました。

既に登録済みのデバイス情報にリストアする場合は、リストア内容を設定し、「リストア」をクリックします。

※リストアを実行すると現在の設定・情報は上書きされますのでご注意ください。

※プランによっては表示されない場合もございます。

※同一 PC で 2 回目以降のログイン時には表示されません。



4. oziocloud(Mac 用)を利用する

インストールした本ツールの使い方を解説します。

4.1. Mac から利用できる機能を紹介

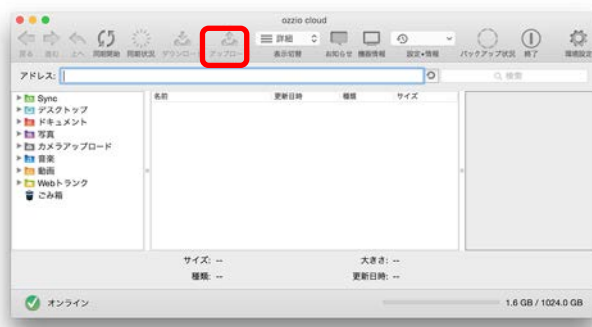
ファイルのアップロードとダウンロード	oziocloud にファイルをアップロード/ダウンロードします。
ファイル・フォルダの削除・名前変更	クラウドストレージ上のファイル及びフォルダに対して、削除・名前の変更を行います。
ファイル・フォルダの同期	パソコン（ローカル）上のファイル及びフォルダをクラウドストレージのファイル及びフォルダと同期ができます。 同期するフォルダは、以下の3種類となります。 ① Sync フォルダ ② マイファイル、ムービー等のフォルダ（以後カテゴリーフォルダ） ③ ユーザー指定フォルダ
設定情報バックアップ	OS やブラウザの設定などのデータをクラウドストレージにバックアップします。 バックアップする項目は、下記になります。 ① OS の基本設定（スクリーンセーバー、壁紙） ② ブラウザの設定、履歴、お気に入り、ID/PW ③ メーラーの設定、連絡帳、メールデータ
設定情報リストア	バックアップした設定情報のリストアを行います。
設定情報ダウンロード	バックアップした設定情報のダウンロードを行います。
設定情報閲覧	設定情報の参照を行います。
設定情報インポート	設定情報のインポートを行います。インポートする項目は下記になります。 ① ブラウザ設定（お気に入り） ② Wi-Fi 情報 ③ 連絡帳情報 ④ OS の基本設定情報
ごみ箱の利用	不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。元あった場所に戻すことも出来ます。
お知らせ	oziocloud に関するお知らせ機能になります。
環境設定	アップロード・ダウンロード速度の制限やアカウント情報の表示、パスワードの変更、拡張子の設定が行えます。
クリーンアップ	テンポラリファイルを削除することが出来ます。

4.2. ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード

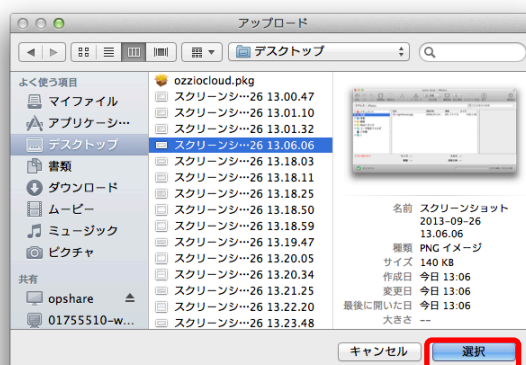
パソコン（ローカル）にあるファイルのアップロード方法と、クラウドストレージ上にあるファイルをパソコン（ローカル）にダウンロードする方法は、以下の通りです。

4.2.1. パソコン（ローカル）上のファイルをアップロードする

1 本ツールにて、アップロード先のクラウドストレージをフォルダー一覧のカテゴリーフォルダから選択し、ツールバー上の「アップロード」ボタンをクリックします。

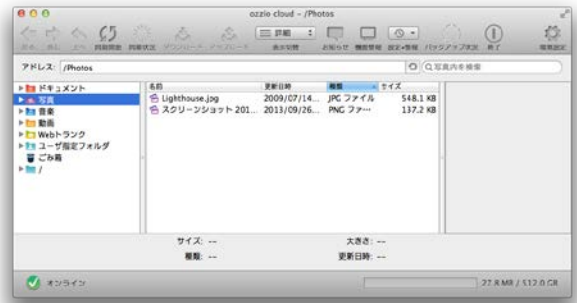


2 ダイアログから、アップロードするファイルを選択し「選択」をクリックします。



3

ファイルのアップロードに成功すると、クラウドストレージ上にファイルがアップロードされます。



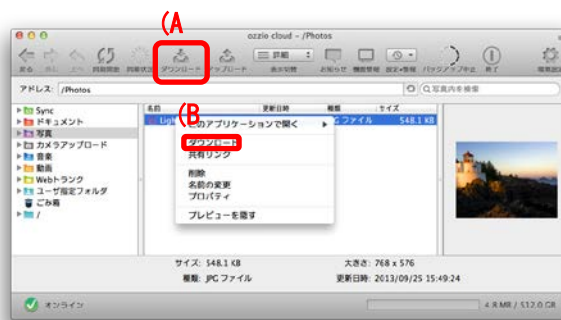
※ファイルのアップロードは、「ozziocloud」にてアップロード先のフォルダを表示しておき、パソコン(ローカル)からドラック&ドロップすることでもアップロード可能です。

4.2.2. クラウドストレージ上のファイルをダウンロードする

1

ダウンロードするファイルを、本ツールのファイル一覧から選択します。

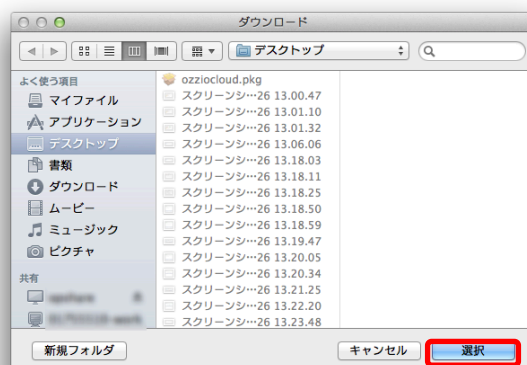
ツールバー上の「**ダウンロード**」(A)をクリックします。または control キーを押しながら左クリック（もしくは右クリック）から表示されるメニュー内の「**ダウンロード**」(B)をクリックします。



2

ダイアログからパソコン（ローカル）の保存先を選択し「**選択**」ボタンをクリックします。

選択した保存先にファイルがダウンロードされます。



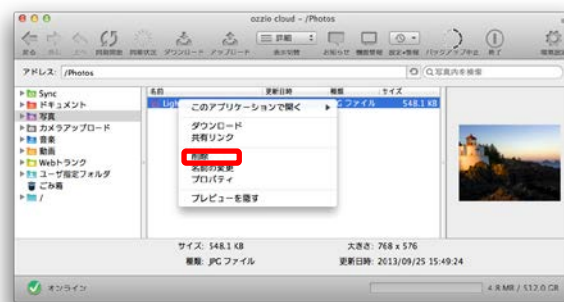
※ファイルのダウンロードは、「ozziocloud」で表示されているファイルをドラック&ドロップで、パソコン(ローカル)にダウンロードも可能です。

4.3. ファイル・フォルダを削除する

1

本ツールにて、削除したいファイルまたはフォルダを選択します。

control キーを押しながら左クリック（もしくは右クリック）し、表示されたメニューから「削除」を選択しクリックします。



2

選択したファイルが削除されます。

※削除されたファイルやフォルダは、「ごみ箱」に保管され、一定期間(ユーザーによる設定が可能)後に削除されます。

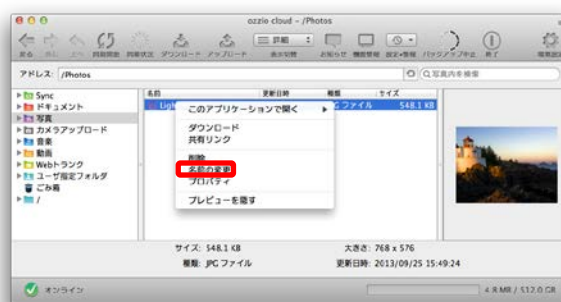


4.4. ファイル・フォルダの名前を変更する

1

本ツールにて、名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択します。

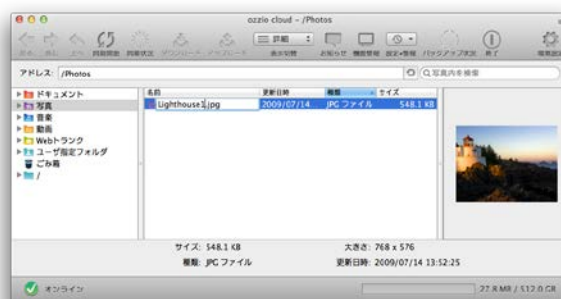
ファイルまたはフォルダ上で、control キーを押しながら左クリック（もしくは右クリック）し、表示されたメニューから「**名前の変更**」をクリックします。



2

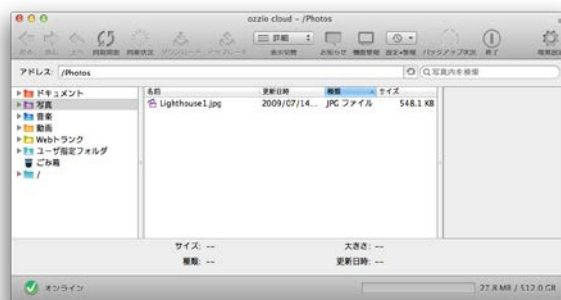
名前を変更します。

※拡張子を変更するとファイルが壊れる可能性があります。変更される場合は、「ドットマーク」以前の名前を変更してください。



3

マウスをクリックするか「Enter」キーを押下すると、ファイル名が変更されます。



4.5. ファイル同期の設定

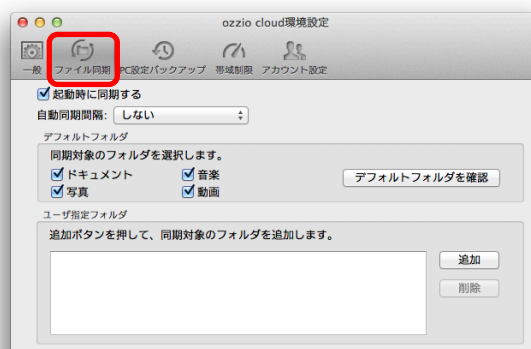
1

本ツールにて、ツールバーの「環境設定」をクリックします。



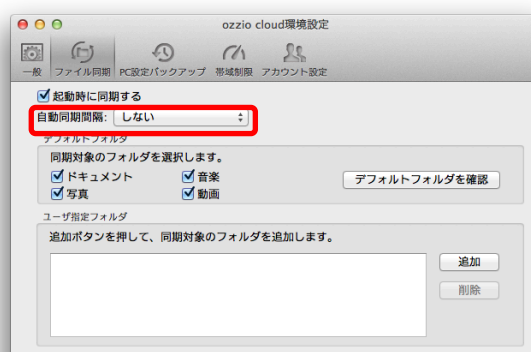
2

表示されたダイアログから、「ファイル同期」タブをクリックします。



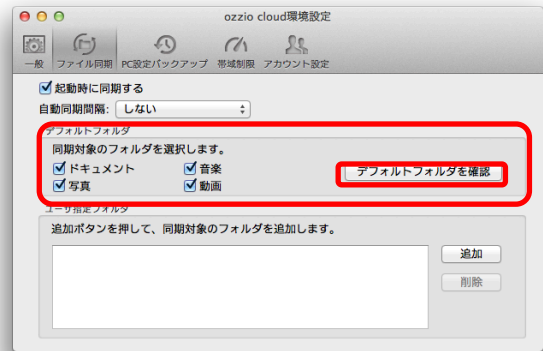
3

「自動同期間隔」にて、更新時間（分）を設定します。



4

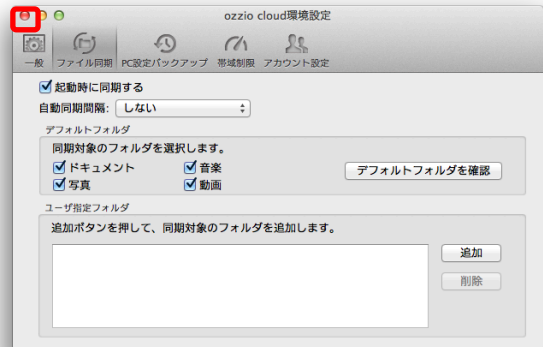
「デフォルトフォルダ」にて同期するフォルダにチェックします。同期対象となるパソコン（ローカル）上のフォルダパスを確認するには、「デフォルトフォルダを確認」をクリックします。



5

「閉じる」をクリックします。

設定したファイル更新チェック間隔毎に、パソコン（ローカル）とクラウドストレージ上のファイル及びフォルダが同期されます。

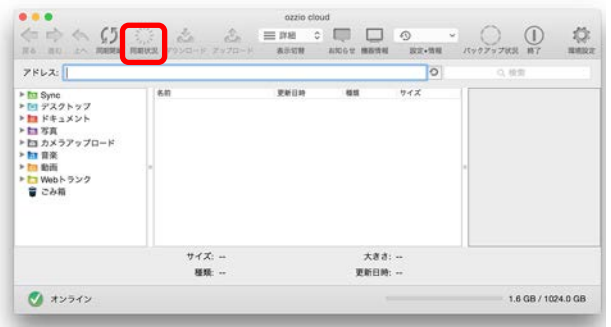


4.6. ファイル同期状況の確認

ファイル同期状況を確認します。

1

本ツールにて、ツールバーの「同期状況」をクリックします。



2

同期状況を表示するスクロールバーが表示されます。

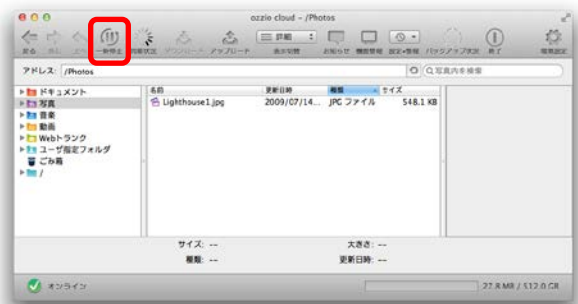


4.7. ファイル同期中断/再開

ファイル同期を中断する、再開する手順は以下の通りです。

1

ファイル同期中に、本ツールのツールバーの「一時停止」をクリックすると、同期が中断します。再度、「一時停止」をクリックすると、同期が再開します。

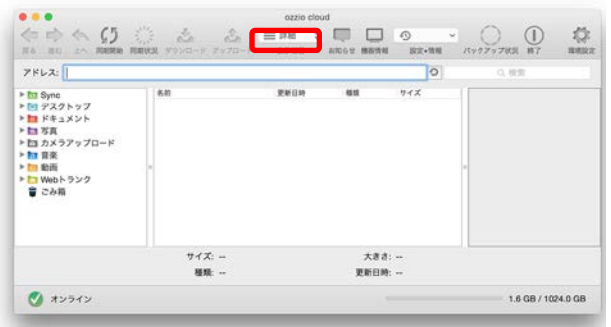


4.8. ファイル・フォルダ表示の切替

ファイル・フォルダ表示を詳細表示または、アイコン表示に切り替えます。

1

本ツールのツールバーの「詳細」をクリックします。



2

詳細表示の場合で、「アイコン」を選択するとアイコン表示に切り替わり

アイコン表示の場合では、「詳細」を選択すると詳細表示に切り替わります。

※デフォルトは、「詳細」表示です。



4.9. ユーザー指定フォルダの追加

ユーザーが指定したパソコン（ローカル）上のフォルダとクラウドストレージ上のフォルダとの同期設定を行います。

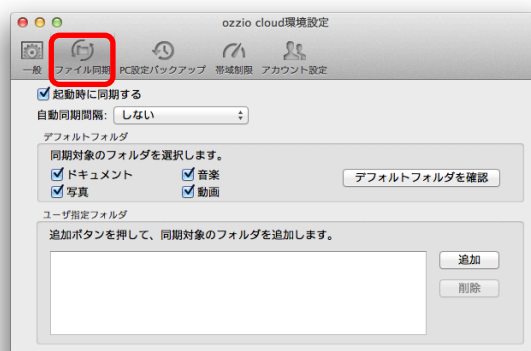
1

本ツールにて、ツールバー上の「環境設定」をクリックします。



2

表示されたダイアログから、「ファイル同期」タブをクリックします。



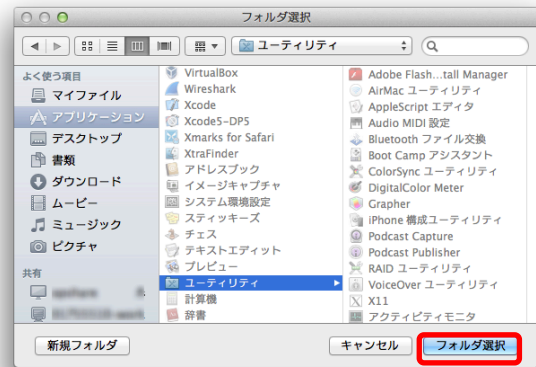
3

「ユーザー指定フォルダ」の「追加」ボタンをクリックします。



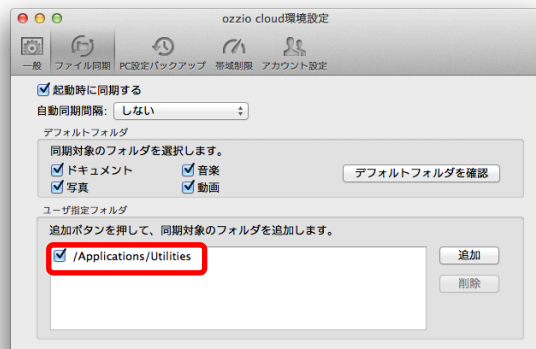
4

表示されたダイアログから、パソコン（ローカル）上の参照先フォルダを選択し、「フォルダ選択」ボタンをクリックします。



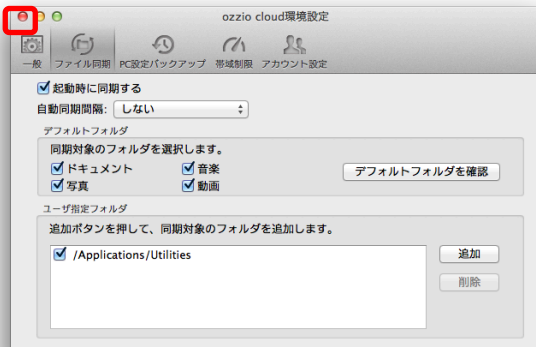
5

選択したフォルダが、「ユーザー選択フォルダ」に表示されます。



6

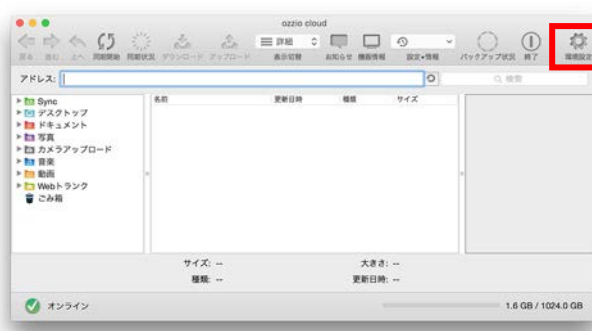
「閉じる」ボタンをクリックして完了します。



4.10. ごみ箱を設定する

1

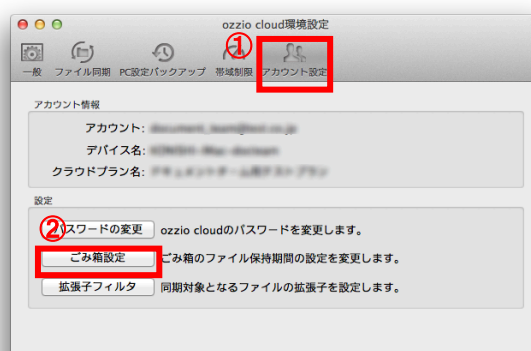
本ツールにて、ツールバー上の「環境設定」をクリックします。



2

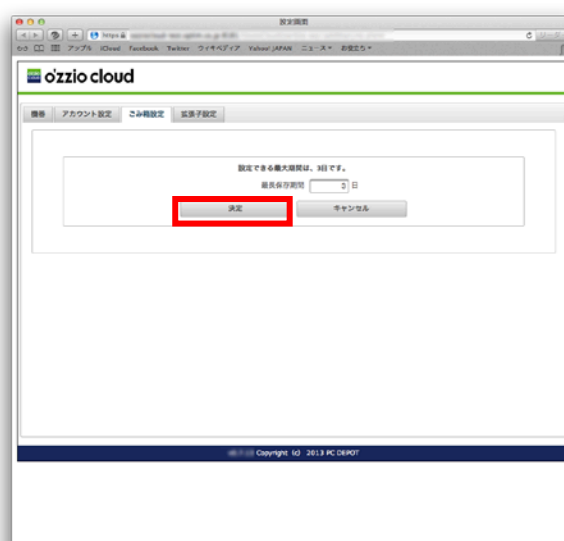
①表示されたダイアログから、「アカウント設定」タブをクリックします。

②「設定」の「ごみ箱設定」ボタンをクリックします。



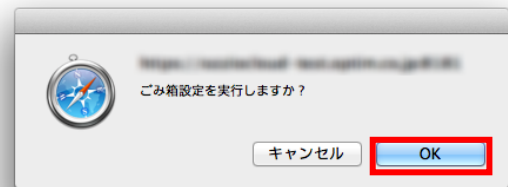
3

「ごみ箱設定」画面が表示されます。
「最長保存期間」(最大3日)を設定し、「決定」ボタンをクリックします。



4

「OK」ボタンをクリックします。



5

「【ごみ箱設定】ごみ箱の最長保持期間が正常に設定されました。」と表示されれば、設定完了です。

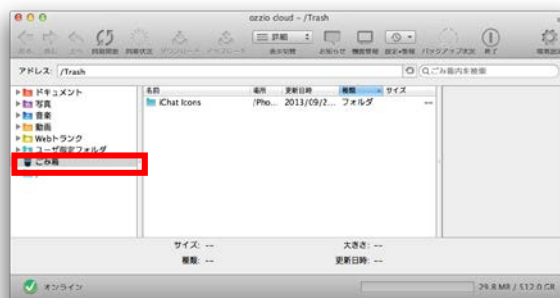


4.11. ごみ箱から削除する

4.11.1. ごみ箱内の全ファイル・フォルダを削除する

1

ozziocloud 上の「ごみ箱」フォルダを表示します。

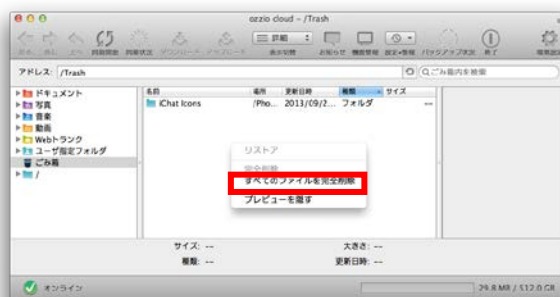


2

「ごみ箱」ファイル一覧上で、control キーを押しながら左クリック（もしくは右クリック）し、メニューを表示します。

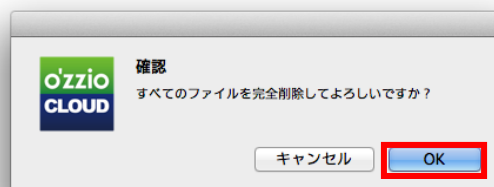
「すべてのファイルを完全削除」をクリックします。

※実行すると、ごみ箱内のすべてのファイル・フォルダが完全に削除されます。



3

「確認」ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。



4

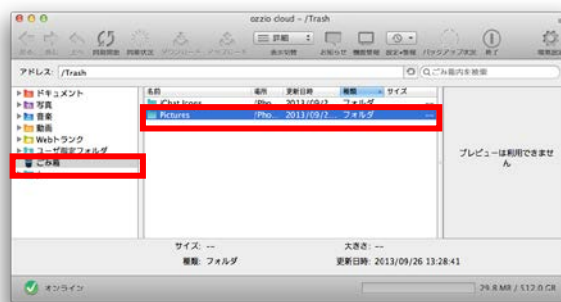
「ごみ箱」内のファイル・フォルダがすべて削除されます。



4.11.2. 個別にファイルを削除する

1

ozziocloud 上の「ごみ箱」フォルダを表示し、「ごみ箱」内で削除したいファイルを選択します。

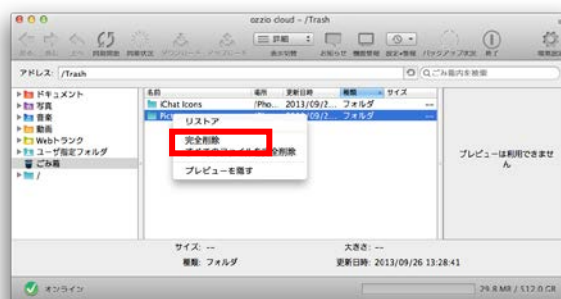


2

選択した状態で、control キーを押しながら左クリック (もしくは右クリック) し、メニューを表示します。

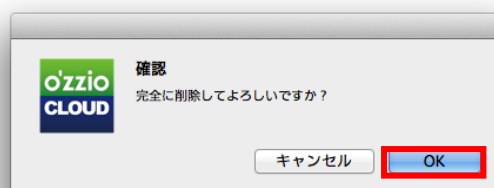
表示されたメニューから「完全削除」をクリックします。

※実行すると、完全に削除されますのでご注意ください。



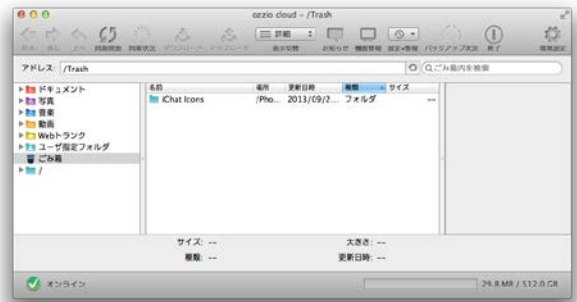
3

「確認」ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。



4

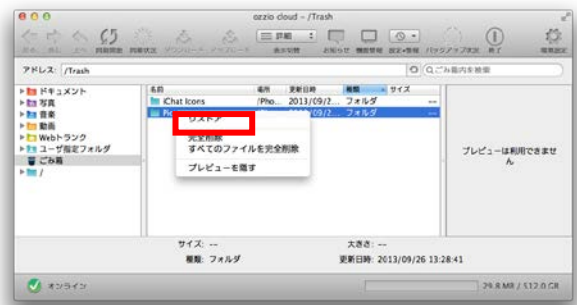
選択したファイルが削除されます。



4.12. ごみ箱から復元する

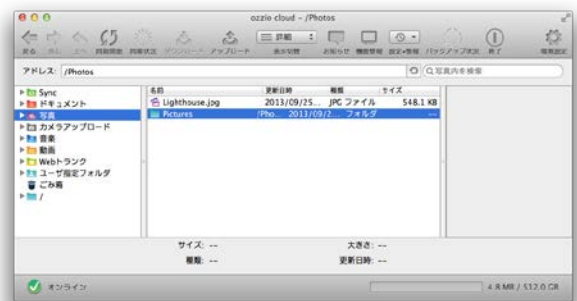
1

「ごみ箱」から復元したいファイルを選択し、ファイルを選択した状態で、control キーを押しながら左クリック(もしくは右クリック)します。「リストア」をクリックします。



2

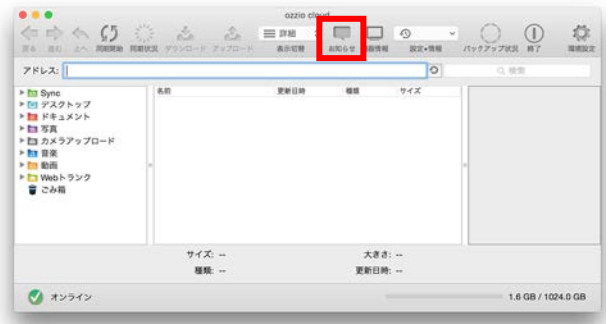
選択したファイルが、元のフォルダに戻ります。



4.13. ozziocloud からののお知らせを見る

1

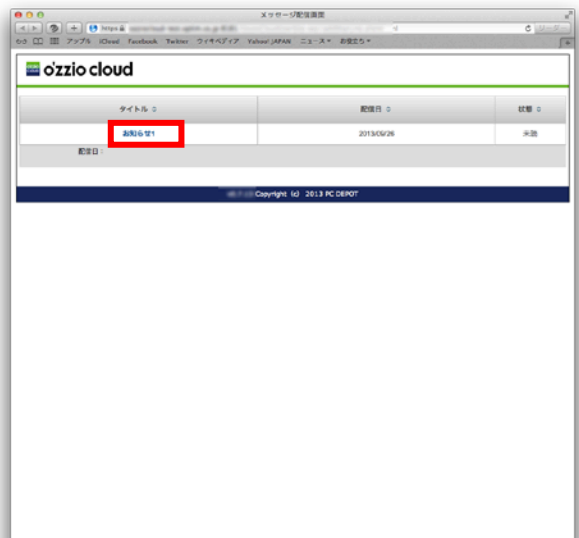
本ツールにて、ツールバー上の「お知らせ」をクリックします。



2

ブラウザが起動し、「お知らせ閲覧」が表示されます。

確認したいお知らせのタイトルをクリックし、内容を確認します。

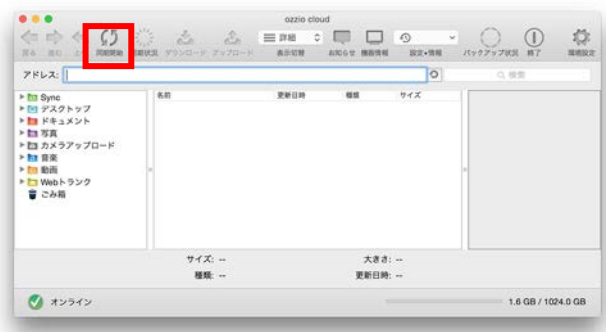


4.14. ozziocloud 内を最新にする

1

本ツールにて、ツールバーの「同期開始」をクリックします。

ozziocloud のフォルダ一覧内が最新の状態になります。



4.15. システム環境設定のログイン項目に ozziocloud を追加する

1

ツールバーの「環境設定」をクリックします。



2

- ① 「ozziocloud-環境設定」の「一般」タブをクリックします。
- ② 「システム起動時に起動」にチェックします。
- ③ 「閉じる」ボタンをクリックすると、設定が完了します。



4.16. 設定情報をバックアップする

1

本ツールにて、ツールバー上の「環境設定」をクリックします。

※バックアップできる件数は、下記の通りとなっています。

手動バックアップ・・・1件

自動バックアップ・・・8件

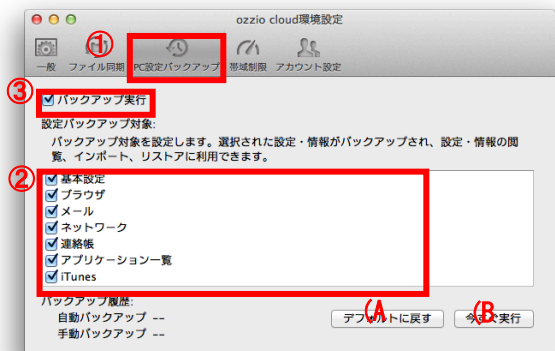


2

①表示されたダイアログから、「PC 設定バックアップ」タブをクリックします。

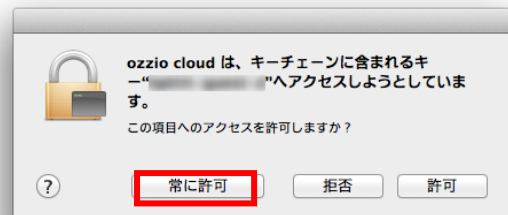
②「設定バックアップ対象」にてバックアップしたい項目にチェックを入れます。デフォルトの設定に戻したい場合は、「デフォルトに戻す」(A)をクリックします。

③「バックアップ実行」にチェックを入れます。※24時間間隔でバックアップが実行されます。※今すぐバックアップを行いたい場合は、「今すぐ実行」(B)をクリックします。



3

「常に許可」をクリックします。



4

バックアップが完了しました。バックアップ結果が表示されます。

「OK」をクリックします。

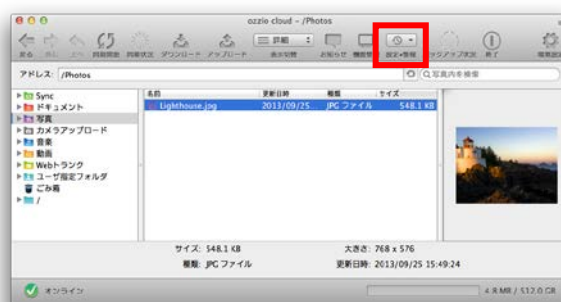


4.17. 設定情報をリストアする

バックアップした設定情報ファイルをリストア(復元)します。リストアできる設定情報は、「設定情報インポート・リストア項目 (Mac)」の 53 ページを参照ください。

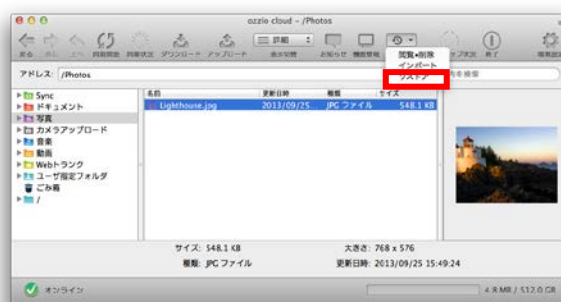
1

本ツールにて、ツールバー上の「設定・情報」をクリックします。



2

「リストア」をクリックします。

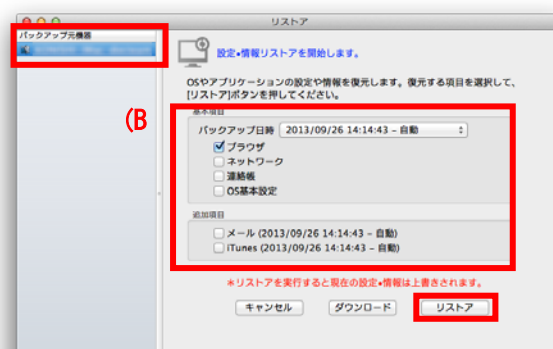


3

リストア画面が表示されます。
バックアップ元機器(A)を選択し、バックアップ日時、バックアップしたい情報の設定(B)を行います。

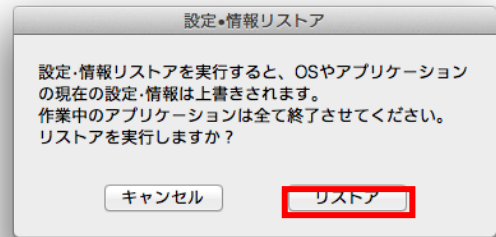
「リストア」をクリックします。

※リストアを実行すると現在の設定・情報は上書きされます。



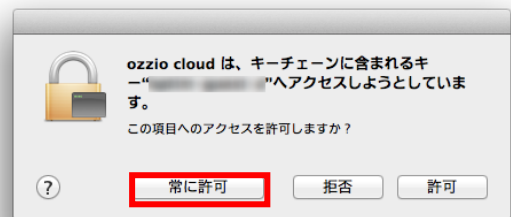
4

「リストア」をクリックします。



5

「常に許可」をクリックします。



6

リストアが完了しました。リストア結果が表示されます。

「OK」をクリックします。

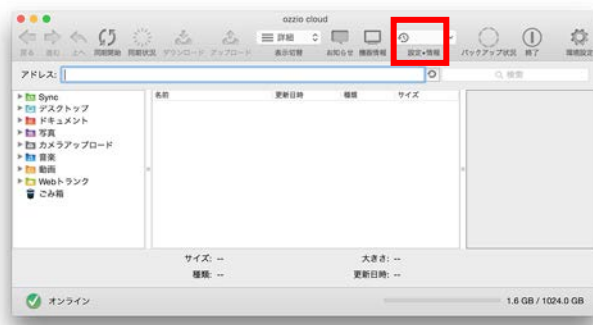


4.18. 設定情報をダウンロードする

バックアップした設定情報ファイルをダウンロードします。設定情報ファイルは、ダウンロードフォルダにダウンロードされます。

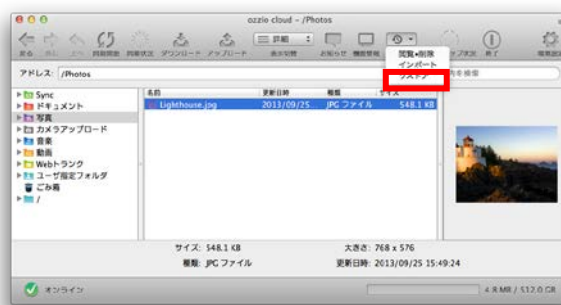
1

本ツールにて、ツールバー上の「設定・情報」をクリックします。



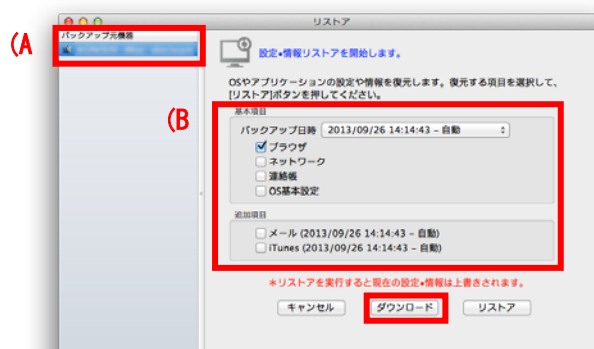
2

「リストア」をクリックします。



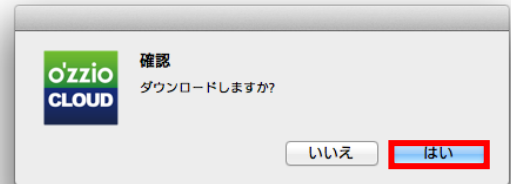
3

リストア画面が表示されます。
バックアップ元機器(A)を選択し、ダウンロード
したいバックアップ情報の設定(B)を行います。
「ダウンロード」をクリックします。



4

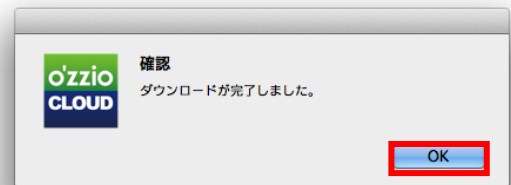
「確認」ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。



5

ダウンロードが完了しました。「OK」ボタンをクリックします。

設定情報ファイルは、ダウンロードフォルダにダウンロードされます。

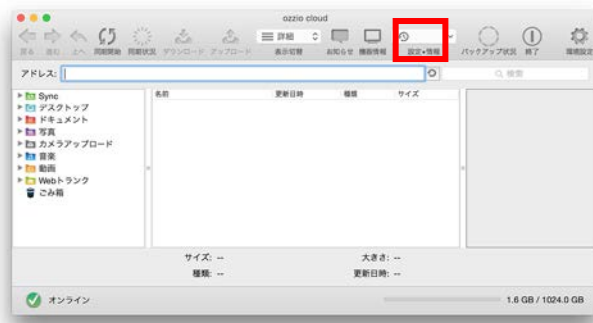


4.19. 設定情報をインポートする

設定情報ファイルをインポートします。インポートできる設定情報は、「設定情報インポート・リストア項目 (Mac)」の 53 ページを参照ください。

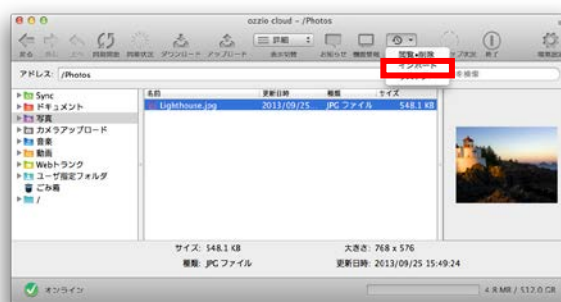
1

本ツールにて、ツールバー上の「設定・情報」をクリックします。



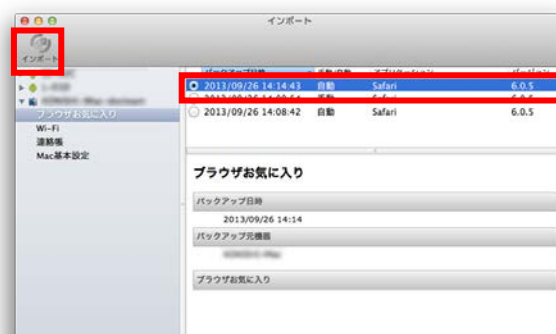
2

「インポート」をクリックします。



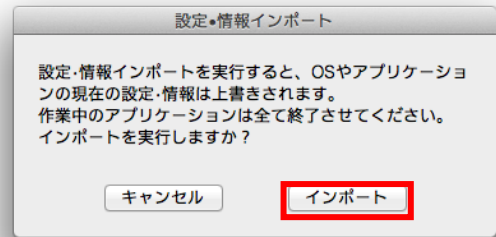
3

インポート画面が表示されます。インポートする項目を選択し、「インポート」をクリックします。



4

「インポート」をクリックします。

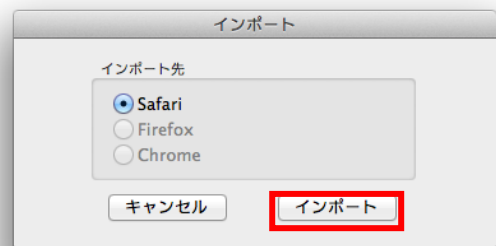


5

インポート先を選択し、「インポート」をクリックします。

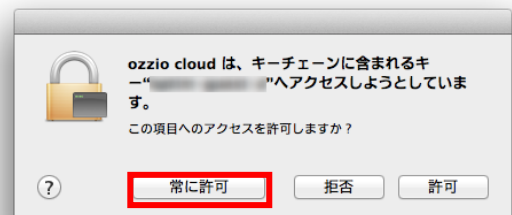
※ブラウザお気に入りをインポートした場合の画面です。項目により画面は異なる場合がございます。

インポートが実行され、設定が反映されます。



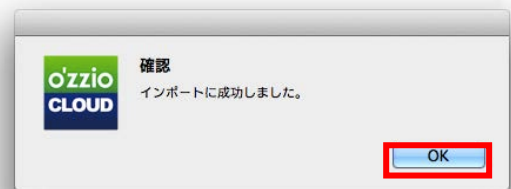
6

「常に許可」をクリックします。



7

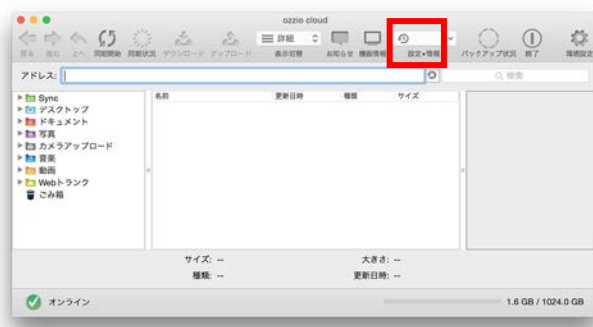
インポートが完了しました。「OK」ボタンをクリックします。



4.20. 設定情報の閲覧を行う

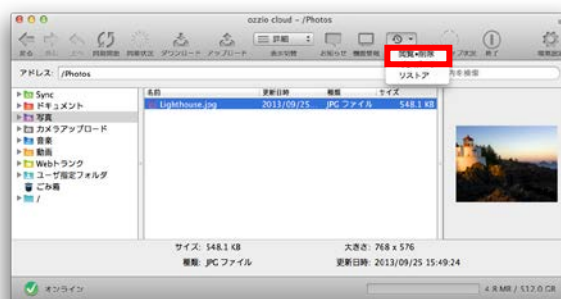
1

本ツールにて、ツールバー上の「設定・情報」をクリックします。



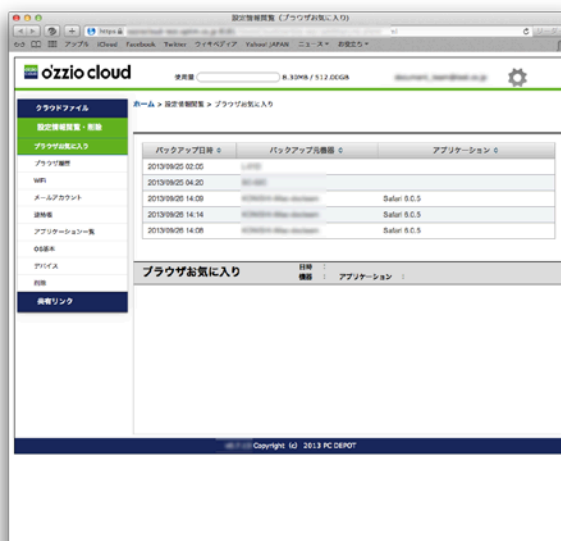
2

「閲覧・削除」をクリックします。



3

設定情報が表示されます。



4.21. 帯域制限を設定する

ファイル同期でのダウンロード、アップロード速度の帯域制限を設定します。

1

ツールバーの「環境設定」をクリックします。

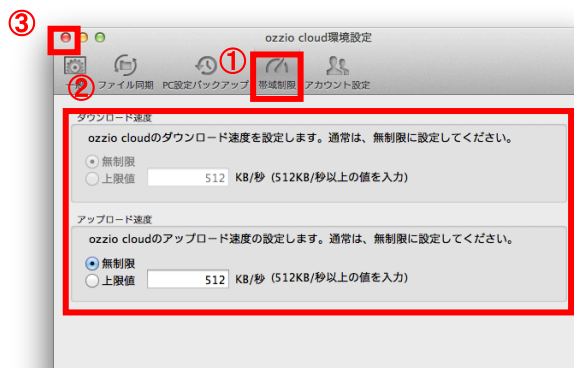


2

①「ozziocloud-環境設定」の「帯域制限」タブをクリックします。

②ダウンロード速度、アップロード速度の設定を行います。

③「閉じる」をクリックすると帯域制限が設定されます。



4.22. アカウント情報を確認する

1

ツールバーの「環境設定」をクリックします。



2

①「ozziocloud-環境設定」の「アカウント設定」タブをクリックします。

②「アカウント情報」欄に現在のアカウント情報が表示されます。



4.23. ozziocloud のパスワードを変更する

1

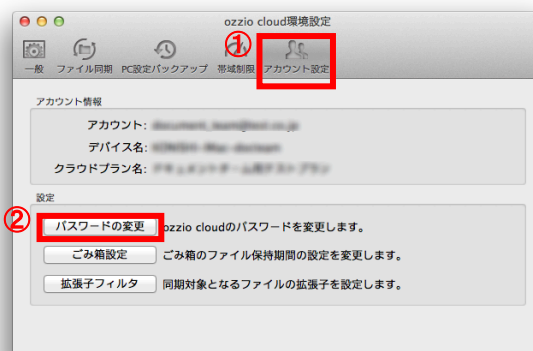
ツールバーの「環境設定」をクリックします。



2

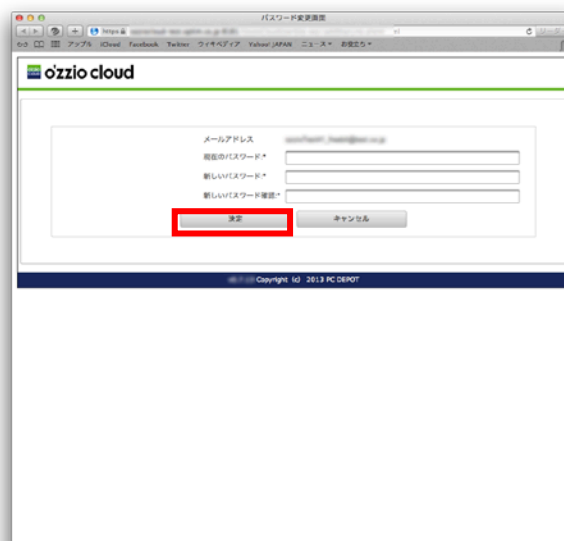
①「ozziocloud-環境設定」の「アカウント設定」タブをクリックします。

②「設定」欄の「パスワードの変更」ボタンをクリックします。



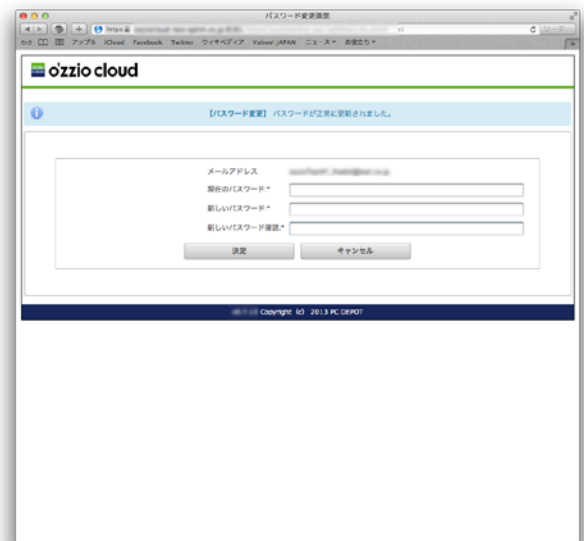
3

「パスワード変更画面」が表示されます。「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード確認」を入力して、「決定」ボタンをクリックします。



4

パスワードの変更が行われます。



4.24. 同期対象となるファイルの拡張子を設定する

1

ツールバーの「環境設定」をクリックします。



2

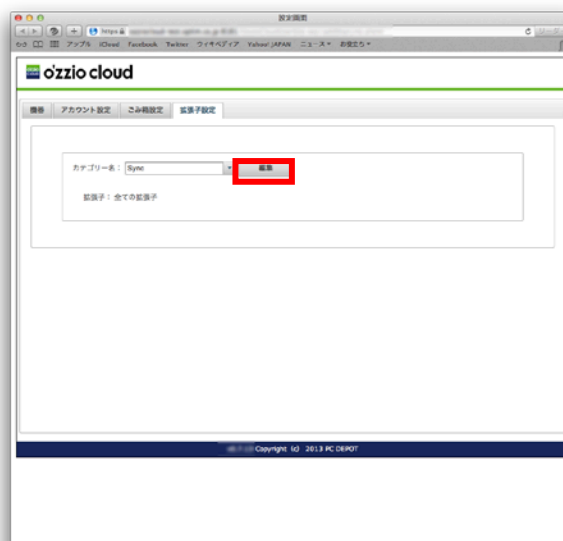
①「ozziocloud-環境設定」の「アカウント設定」タブをクリックします。

②「設定」欄の「拡張子フィルタ」ボタンをクリックします。



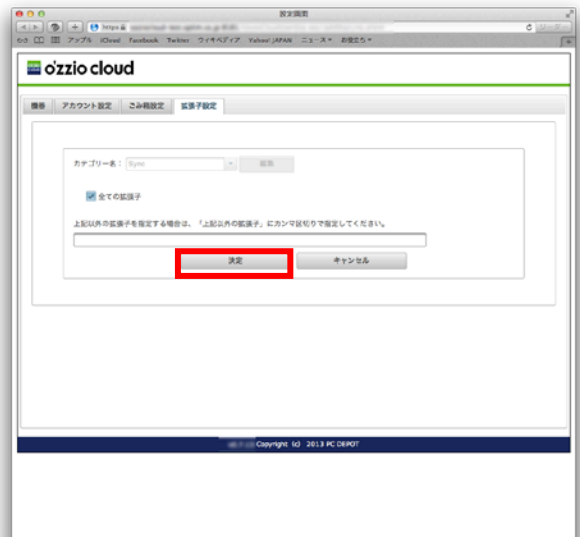
3

「設定画面」が表示されます。
「編集」をクリックします。



4

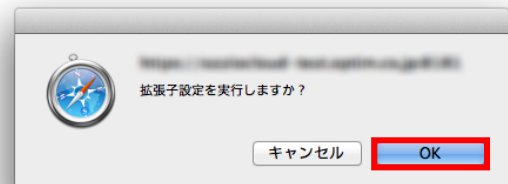
同期対象としたいファイルの拡張子に、チェックを入れ、「決定」をクリックします。



5

「OK」をクリックします。
同期対象としてファイルの拡張子が登録されます。

※登録された後に、本ツールへ反映されるためには、ツールの再起動を行うか、一度ログアウトして再ログインをお願いします。



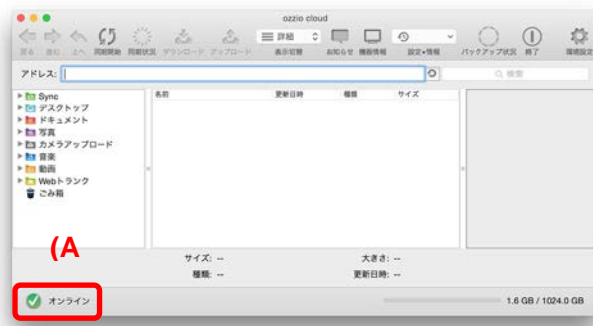
4.25. ネットワーク接続状況を確認する

1

画面右下の(A)にて、PCのネットワーク接続状況が確認できます。

- ・「オンライン」：ネットワーク接続状態
- ・「オフライン」：ネットワーク未接続状態

※オフラインの場合で、ネットワークにつないだ後、接続されたかどうかを確認するには、(A)をクリックします。ネットワークに接続されている場合は、「オンライン」に表示が変わります。



4.26. クリーンアップを行う

1

メニュー「ツール」から「クリーンアップ」をクリックします。

ダイアログが表示され、クリーンアップが開始されます。

そのまま 100%までお待ちいただくと、クリーンアップが完了します。

※ご契約の種類によって、メニューが表示されない場合もございます。

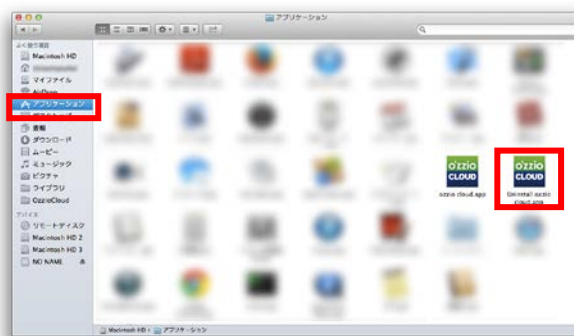
※クリーンアップとは、ゴミファイルの一括削除を行います。

5. ozziocloud(Mac 用)をアンインストールする

ozziocloud(Mac 用)をアンインストールする際は、下記の手順に従ってください。

1

アプリケーションフォルダ内にある「Uninstall ozziocloud.app」をダブルクリックします。



2

「はい」をクリックします。



3

パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



4

アンインストールが完了しました。

「OK」をクリックします。

アプリケーションフォルダ内の「Uninstall ozziocloud.app」を手動でごみ箱へ入れ、削除してください。



※アンインストール後に、必ず OS の再起動を行うようにお願いします。再起動せずにインストールし直した場合、以前のアカウント情報が残っている場合があります。

6. 付録 設定情報インポート・リストア項目 (Mac)

設定情報のインポート・リストア一覧項目です。

○	対応
△	未対応
-	対応不可

設定バックアップ (自動、手動)

大項目	アプリ	中項目	小項目	インポート	リストア	
インターネット 設定	Safari	ブラウザの全般	ホームページ	-	○	
			タブ			
			デザイン			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			
			favicon			
		ブラウザの セキュリティ設定	-			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			○ (追加)
			favicon			-
		ブラウザの履歴	-			
		ブラウザの cookie	-			
ブラウザの ID/パスワード	-					

インターネット 設定	Fire Fox	ブラウザの全般	ホームページ	-	○	
			タブ			
			デザイン			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			
			favicon			
		ブラウザの セキュリティ設定	-			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			○ (追加)
			favicon			
		ブラウザの履歴	-			
		ブラウザの cookie	-			
ブラウザの ID/パスワード	-					
インターネット 設定	Google Chrome	ブラウザの全般	ホームページ	-	○	
			タブ			
			デザイン			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			
			favicon			
		ブラウザの セキュリティ設定	-			
		ブラウザ お気に入り	ブックマーク			○ (追加)
			favicon			-
		ブラウザの履歴	-			
		ブラウザの cookie	-			
ブラウザの ID/パスワード	-					
ネットワーク設 定	-	Wi-Fi 設定 (※ 1)	表示名	○ (追加)	-	
	-		SSID			
	-		パスワード			
	-		セキュリティの種類			
	-		暗号化方式			

メール	Mail (Apple Mail)	メールアカウント	-	-	○
		メール本文	-		
	Microsoft Outlook 2011 for MAC	メールアカウント	-	-	○
		メール本文	-		
	thunderbird	メールアカウント	-	-	○
		メール本文	-	-	
連絡帳	OS 標準	-	-	○ (追加)	-
	Microsoft Outlook	-	-	-	○
	Thunderbird	-	-	-	○
基本設定	-	壁紙	-	○ (置き換え)	○ (壁紙は置き換え)
	-	スクリーンセイバー	-		
iTunes	-	iTunes プレイリスト情報	-	-	○
	-	その他データ	-		

※ 1・・・対応しているセキュリティ方式は、「暗号化なし」「WEP」「WPA Personal」「WPA2 Personal」になります。

【OpenSSL】

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェア及び OpenSSL プロジェクト (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェア (OpenSSL Toolkit で使用)、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれます。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

OpenSSL License

```
/*=====
 * Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 * the documentation and/or other materials provided with the
 * distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 * software must display the following acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 * endorse or promote products derived from this software without
 * prior written permission. For written permission, please contact
 * openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 * permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 * acknowledgment:
```



```

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====

```

```

=====

```

```

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

```

Original SSLeay License

```

-----

```

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.

```

- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */